



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和7年(2025年)11月28日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

学芸会について

校長 内田 辰彦

11月21日に学芸会・児童鑑賞日を行いました。二小では、これまでは学習発表会の形で、一部の学年で劇を発表していましたが、全学年で取り組む学芸会は、在籍している児童にとっては初めての行事となります。

10月18日の運動会から約1か月の間は、この学芸会に向けて練習や準備を計画的に取り組みました。6年生の教室前の廊下にはその意気込みを言葉にして掲示してあります。「学芸会 役になりきり がんばろう」「全員で 全力発揮 がんばるぞ」「楽しんで みんなでなりきる 夢の舞台」子どもたちが学芸会に臨む気持ちが伝わります。

児童鑑賞日は5つの学年が発表しました。3年生はその週に2学級インフルエンザによる学級閉鎖だったため、12月に発表を延期しました。発表したどの学年も、一人一人が輝くすばらしい発表でした。人前で話したり、大勢の人に見られたりすることが苦手な子もいます。それぞれ自分ができそうな役割を担いましたが、本番の舞台でも役になりきって演じることができました。1年生から6年生までのそれぞれの学年らしさが伝わってくる舞台上、観ている子どもたちも楽しんで観ることができました。

翌日の保護者参観日は予想外のトラブルが起きました。プログラム1番は1年生の発表ですが、保護者の方も来場し、あとは開始のブザーを待つだけになったとき、体育館の電気系統の全てが使えなくなりました。教職員総出で復旧に向けて取り組みました。また、関係機関等に連絡し対応策を教えてもらったり、学校に来てくれるように要請したりしました。45分ほど対応しましたが、復旧できず、電気業者の方が来る時間も確定できないため、学芸会をその場で中止することとしました。

体育館に来場していただいた保護者の方やご来賓の皆様には、冷静に対応していただき本当に助かりました。保護者の方で電気設備に詳しい方には復旧作業を手伝っていただきました。それでも復旧できず、大変申し訳なかったのですが、12月に延期する旨を伝え、理解していただきました。すぐる配信でその旨お伝えしましたが、学校に来ていただいた保護者の皆様には、事情を説明して理解していただきました。

何よりも、子どもたちは残念だったと思います。それでも、12月の発表に向けて気持ちを切り替えている様子です。トラブルの原因は、電力の使用量が許容量以上だったことと、体育館の主幹電源が新校舎内にあり、そのことが十分に周知できていなかったため、復旧できなかったことです。次回にはトラブルが起きないように万全を期して臨みたいと思います。ご迷惑をおかけしたこと、深くお詫びいたします。

■「すぐる」を用いた電子連絡帳の試行運用

この度、本校では、連絡帳を紙媒体から電子化し、保護者の皆様とより円滑な情報共有を図るため、「すぐる」の機能を用いた電子連絡帳の試行運用を開始いたします。今年度3学期からの運用にご協力をお願いいたします。

なお、従来どおり、連絡帳で連絡したい方は、連絡帳の使用も可能です。詳しくは別途お知らせするお便りをご確認ください。